

笛吹市環境基本計画 平成29年度取り組み進捗状況

●：成果指標 目標への到達度を表す指標
 ○：取り組み指標 目標達成に向けた取り組みの進捗状況を表す指標
 △：モニタリング指標 継続的に数値をモニタリングし、状況の経年変化を把握する指標

進捗状況の見方(基準値と現状値の比較)

○ 改善が見られた
 ▲ 改善が見られなかった
 — 基準値維持
 空欄 H28数値なし

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準値	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標(H32)	現状値(H29実績)	進捗状況	備考(根拠数字、参考資料)	コメント	主な担当課		
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-1 農地・果樹園	「農地や土との親しみやすさ」に満足している市民の割合	●	%	59.1	—	—	—	—	—	—	71	—	未実施	農用地面積については、農振除外申請を適正に審査を行い、面積が極端に減らないよう注意していく。	環境推進課		
		農用地面積	●	ha	3,587	3,559	3,545.0	3,531.0	3,518.0	3,516.0	3,279.0	3,587	3,277.5	▲	農用地利用計画変更概要書		農林振興課	
		耕作放棄地の面積	●	ha	171	169	169	169	268	232	197	120	211	▲	H29利用状況調査(210.9ha)		農業委員会	
		農地ハトロール実施回数	○	回	1	1	1	1	1	1	1	2	1	→		改正農業委員会等に関する法律がH28年に施行され、委員は減少したが、新たに農地利用最適化推進委員が設けられたため、耕作放棄地等ハトロール強化することが出来るようになった。	農業委員会	
		新し耕作を始めた人数、耕作希望者数	○	人	38	3	39	40	41	36	28	41	56	○		引き続き農地ハトロール等を行い、農業委員、農地中間管理機構等と連携を図りながら、農地の遊休防止に努める。	農林振興課	
		学校給食において地元農産物を使用する割合	○	%	12	13	13	14	14	15	15	20	22	○			学校教育課	
		農業体験・交流イベント開催数	△	回	2	4	2	1	0	0	0	0	—	0	▲	H29未実施	エコファーマーはJAでも普及促進したことにより認定者が増加した。また、認定農業者への支援助成が充実したことにより認定農業者が増加したと思われる。	農林振興課
		参加者数	△	人	100	153	110	104	0	0	0	0	—	0	▲	H29未実施		農林振興課
		農業学習会、セミナーの開催回数	△	回	20	20	26	27	26	27	27	0	—	25	○	援農支援センター総会資料より		農林振興課
		参加者数	△	人	600	648	602	964	730	775	—	—	—	537	▲	援農支援センター総会資料より		農林振興課
市民農園の面積	△	m ²	9,412	8,918	9,412	5,525	5,525	8,445	8,445	—	—	8,445	▲			農林振興課		
エコファーマー認定者数(※1)	△	人	1,873	1,765	1,762	2,669	2,700	2,251	2,287	—	—	2,373	○	新規認定者86人(峡東農務事務所より)		農林振興課		
認定農業者数	△	人	526	517	550	628	710	833	930	—	—	944	○			農林振興課		
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-2 森林	「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	●	%	77.3	—	—	—	—	—	—	93	—	未実施	林野面積や民有林に関して適正な林地管理に努めている。	環境推進課		
		林野面積	●	ha	11,836	11,836	11,819	11,819	11,819	11,819	11,819	11,836	11,819	▲		また、笛吹市の約6割を占める森林は、洪水や土砂災害から市民の生命や財産を守るともに、CO2を吸収して地球温暖化を防止するなど、きわめて重要な機能を有しているため、更なる保全を努めている。	農林振興課	
		林業体験の実施学校数	○	校	9	0	0	0	0	0	0	—	0	▲	H29未実施		農林振興課	
		参加生徒数	○	人	255	0	0	0	0	0	0	—	0	▲	H29未実施		農林振興課	
		森林体験の実施回数	△	回	3	1	1	1	1	1	1	—	1	▲	植樹祭		農林振興課	
		参加者数	△	人	200	150	150	120	110	120	120	—	—	125	▲	植樹祭参加人数とNPO協力者		農林振興課
		森林経営計画認定面積	△	ha	1,945.69	1,962.05	1,961.98	1,961.98	2,539.60	2,539.60	2,539.60	—	—	2,539.60	○			農林振興課
		森林保全整備事業実施面積(累計)	△	ha	323	323	323	323	323	323	323	—	—	323	→			農林振興課
		間伐面積(累計)	△	ha	233.61	276.58	280.58	280.58	282.83	282.83	282.83	—	—	282.83	○			農林振興課
		植樹面積(累計)	△	ha	57.22	66.33	67.23	67.23	67.63	67.93	67.93	—	—	67.93	○			農林振興課
林野面積のうち民有林面積	△	ha	7,380.92	7,380.92	7,035.85	7,035.85	7,035.85	7,035.85	7,035.85	—	—	7,035.85	▲			農林振興課		
保安林面積(水源かん養保安林)	△	ha	5,942.18	5,942.18	6,189.00	6,189.00	6,189.00	6,189.00	6,189.00	—	—	6,189.00	○			農林振興課		
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-3 河川・水辺	「水や水辺との親しみやすさ」に満足している市民の割合	●	%	40.2	—	—	—	—	—	—	52	—	未実施	アダプトプログラムの実質登録数は10団体。その内2団体が笛吹川周辺の清掃を実施。	環境推進課		
		多自然工法を導入した事業件数	○	件	2	0	1	0	0	0	0	1	0	▲	未実施	各種団体からボランティア収集等の申し込みがあった場合、アダプトプログラムへの登録を進めていきたい。	土木課	
		アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備)(※2)	○	団体	3	3	3	3	2	3	2	7	2	▲	川中島老人クラブ・株式会社イワタニ	環境推進課		
		登録人数	○	人	77	91	56	93	92	98	84	117	76	▲	イルミネーションにより河川を親しめるよう近津用水に演出した。河川の清掃は土手や河川内の雑草・雑木の除去やゴミ拾いを行い河川美化に努めている。	環境推進課		
		河川の清掃活動実施回数	△	回	2	4	4	4	4	4	3	—	2	→	金川沿岸0件、金川雑木1件、芦川1件	土木課		
		参加人数	△	人	200	661	734	696	623	663	430	—	—	325	○	金川沿岸0人、金川雑木170人、芦川155人	土木課	
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-4 動植物・生態系	特定外来種に関する広報回数	○	回	0	0	0	0	1	1	1	1	0	→	農林振興課	春先に笛吹川土手で咲き誇るオオケイギクは特定外来種。これを観賞用に持ち帰る人がおり、住宅地周辺にも繁殖してきている。	環境推進課	
		鳥獣保護区の指定数	△	箇所	2	2	2	2	2	2	2	—	2	→			農林振興課	
		面積	△	ha	15.49	15.49	15.49	15.49	15.49	15.49	15.49	—	15.49	→			農林振興課	
		自然環境保全地域の指定数	△	箇所	4	4	4	4	4	4	4	—	4	→			農林振興課	
		面積	△	ha	30.63	30.63	30.63	30.63	30.63	30.63	30.63	—	30.63	→			農林振興課	
		動植物に関する天然記念物の件数(県)	△	件	8	7	7	7	7	7	7	—	5	▲	指定文化財台帳		文化財課	
		(市)	△	件	35	35	35	33	33	32	32	—	32	▲	指定文化財台帳		文化財課	
		野生動物の食害等による被害件数(苦情件数)	△	件	27	12	35	33	30	37	32	—	36	▲	農林振興課16 支所20		農林振興課	
		農作物被害防止に向けた有害鳥獣駆除実施回数	△	回	27	9	35	33	30	37	32	—	36	○			農林振興課	
		駆除数	△	頭	627	615	875	826	948	843	855	—	1,055	○	猪128 鹿289 熊1 猿2 カラス等634 その他1		農林振興課	
観察・発見された特定外来種の個体数	△	頭	2	2	4	0	3	0	0	—	14	○			環境推進課			
豊かな自然とのふれあい	1-5	「生き物とのふれあいやすさ」に満足している市民の割合	●	%	45.6	—	—	—	—	—	—	55	—	未実施			環境推進課	
		自然観察会等のイベント開催数	○	回	0	1	0	0	0	2	1	1	0	→			農林振興課・環境推進課	
健康	2-1 大気環境	「空気のきれいさ(車の排気ガス、悪臭等)」に満足している市民の割合	●	%	58.1	—	—	—	—	—	—	70	—	未実施	平成29年度から有料指定ごみ袋が導入されたことにより分別が進み、平成28年度と比較すると約37%増加した。	環境推進課		
		廃プラスチック等の回収量	○	t	271	276	266	259	255	257	262	280	358	○	その他プラスチックの収集量		環境推進課	
		廃プラスチック等の適正処理周知、指導回数	○	回	86	57	43	27	24	31	52	90	26	▲	分別説明会の回数	野焼き・悪臭への苦情は原因者に適切な指導を行っていく。また広報周知等により理解促進を図り、苦情の減少に努めたい。	環境推進課	
		大気汚染に係る測定結果(NOx年平均値)窒素酸化物	△	ppm	0.022	0.010	0.012	0.018	0.017	0.016	0.014	—	0.014	○	県大気水質保全課が公表を中止したため、数値結果の確認		環境推進課	
		(SPM年平均値)浮遊粒子状物質	△	mg/m ³	0.013	0.020	0.018	0.020	0.016	0.018	0.016	—	0.016	▲	県大気水質保全課による結果公表	悪臭に由来する物は主に浄化槽の清掃・点検が行き届いていないことにより汚物等が水路や側溝に流出している状況。管理の徹底を原因者への指導を行っていく。	環境推進課	
		空間放射線量測定結果(年平均値)	△	μSv/h	—	0.056	0.053	0.061	0.063	0.062	0.065	—	0.050	▲	県大気水質保全課による結果公表		環境推進課	
		畜産農家に対する悪臭の指導回数	△	回	1	1	1	1	0	1	0	—	2	▲	農林振興課所管の苦情台帳より		農林振興課	
		工場・事務所における悪臭の指導回数	△	回	3	1	2	2	4	1	6	—	2	○	悪臭台帳2		環境推進課	
		「野焼き」に関する苦情件数	△	件	63	34	52	58	62	39	85	—	46	○	野焼き台帳32 支所9 農林5		農林振興課・環境推進課	
		「悪臭」に関する苦情件数	△	件	35	12	22	26	22	26	14	—	19	○	悪臭台帳17 支所2(工場等を含む)		農林振興課・環境推進課	

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準値	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標(H32)	現状値(H29実績)	進捗状況	備考(根拠数字、参考資料)	コメント	主な担当課		
																	進捗状況	
まち	3-3 郷土景観	「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	●	%	77.3	—	—	—	—	—	—	93	—	未実施		環境推進課		
		電線類地中化の整備延長	△	m	2,779.3	2,779.3	2,779.3	3,702.5	3,702.5	3,702.5	3,702.5	—	2,472.7	▲	駅前区画整理(市道)分及び北口広場分	まちづくり整備課		
		「まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱など)」に満足している市民の割合	●	%	40.7	—	—	—	—	—	—	—	50	—	未実施	不法投棄対策として市内の監視パトロールを実施している。昨年度から見ると増加傾向にあるため、引き続き広報誌やチラシ等を通じて更なるモラル向上に努めていきたい。また、粗大ごみで回収できない家電リサイクル製品やタイヤ・バッテリーの不法投棄を未然防止するための特別回収を行っている。	環境推進課	
	3-4 まち美化、暮らしのマナー、モラル	公害や不法投棄がなく衛生的に生活できると答えた市民の割合	●	%	49.3	48.8	49.4	51.7	—	—	—	60	—	未実施		環境推進課		
		アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備含む) ^(※2)	○	団体	19	17	14	12	11	12	10	22	10	▲		環境推進課		
		登録人数	○	人	581	507	398	418	414	416	431	750	420	▲		環境推進課		
		清掃活動の参加者数	○	人	1,830	1,890	1,840	1,850	1,830	1,850	1,860	2,050	420	▲		環境推進課		
		意識啓発イベントの開催回数	○	回	86	57	43	27	24	31	52	90	26	▲		環境推進課		
		参加者数	○	人	2,650	1,629	1,390	800	700	900	1,000	2,700	995	▲		環境推進課		
		花の苗配布団体数	○	団体	61	65	65	63	73	73	87	100	83	○		市民活動支援課		
		パトロール実施日数	△	日	240	240	240	240	240	240	240	240	—	240	→		環境推進課	
		不法投棄の発見報告件数	△	件	290	456	217	184	187	173	213	—	351	▲	不法投棄回収台帳より	環境推進課		
		不法投棄物処理件数	△	件	287	441	208	176	182	151	195	—	310	▲		環境推進課		
		「不法投棄」に関する苦情件数	△	件	18	3	3	7	14	7	19	—	46	▲	環境対応簿21、回収台帳(通報あり)29 支所25	環境推進課		
		「空き地や耕作放棄地の雑草」に関する苦情件数	△	件	46	61	68	64	73	90	200	—	188	▲	環境73 農委91 支所24	環境推進課・農業委員会		
		空地等の管理人に対する指導件数	△	回	39	59	65	61	56	86	172	—	167	▲	環境61 農委91 支所15	環境推進課・農業委員会		
		啓発看板の配布件数	△	件	35	122	120	147	92	89	56	—	28	▲		環境推進課		
		地球環境の保全に貢献するまち	4-1 地球温暖化	市営バスの利用者数	●	人	28,668	29,500	27,051	26,617	23,788	23,627	24,151	31,534	23,440	▲		運行経費削減のため、芦川バスの第1便及び最終便において、利用の少ない常宿～奈良原を停止
住宅用太陽光発電システム補助金交付件数(累計)	○			件	253	806	1,248	1,522	1,732	1,857	1,954	2,932	2,042	○	平成29年度交付件数88件		環境推進課	
環境家計簿提出件数	○			件	47	13	23	44	30	73	91	57	50	○	県エネルギー政策課によるHP公表		環境推進課	
LED照明導入小中学校数	○			校	0	0	0	0	3	6	4	19	4	○		太陽光発電システム補助金交付制度については、システムがある程度普及し、設置費用も以前と比べ安価になったことから、平成29年度未を持って終了することとなった。	教育総務課	
デマンド交通の利用者数	○			人	3,600	3,600	5,058	6,887	6,784	7,798	8,449	14,900	8,046	○			企画課	
公用車へのエコカーの導入台数	○			台	42	59	71	90	109	122	128	145	124	○	ハイブリッド車2台 アイドリングストップ車3台導入		管財課	
環境学習の一環として簡易測定を実施している小中学校数	○			校	6	6	7	8	9	10	10	12	10	○		学校施設ではLED照明を一部ではあるが石和東・石和北小・一宮北小・八代小の体育館と順次進めていく。	学校教育課	
幹線道路網が整備され移動しやすいまちだと感じている市民の割合	△			%	54.3	45.5	44.3	41.5	—	—	—	—	—	—	未実施		財政課の公表資料	
鉄道やバスが利用しやすいまちだと感じている市民の割合	△			%	19.9	15.8	12.5	14.6	—	—	—	—	—	—	未実施		財政課の公表資料	
JR石和温泉駅1日当り乗・降者数	△			人	5,338	5,176	5,132	5,596	5,570	5,692	5,862	—	5,922	○		財政課の公表資料(経営企画課の業務関連)	環境推進課	
地球温暖化対策に関するキャンペーン実施回数	△			回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	→	市民まつり		環境推進課	
自ら動き環境保全に取り組むまちづくり	5-1 環境教育 環境学習			「学校や地域社会における環境教育の質・量」に満足している市民の割合	●	%	43.4	—	—	—	—	—	—	50	—	未実施		環境教室については、指定された小学校において開催した。また、市民まつりにおいて親子で楽しみながら環境について学んでいただいた。
		みどりの少年少女隊組織数	●	団体	9	8	8	9	9	9	9	10	9	→			農林振興課	
		環境学習イベント開催数(子ども環境教室、環境ポスター展)	○	回	2	7	6	6	6	7	5	7	3	○	境川小(1)・春日居小(1) 市民まつり		環境推進課	
		やまなしエコティーチャーによる出前講座開催小中学校数(累計) ^(※4)	○	校	0	1	3	6	9	12	10	19	2	○	環境教育2校をそれぞれ2回づつ実施		学校教育課・環境推進課	
		環境年次報告書の公表回数	○	回	0	0	1	1	1	1	1	1	1	○			環境推進課	
		環境関連図書数(学校)	○	冊	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,521	3,550	3,555	3,550	○			学校教育課	
	5-2 各主体による環境保全活動	「エコ活動に取り組んでいる」市民の割合	●	%	82.4	78.3	77.6	77.2	—	—	—	—	88	—	未実施		広報誌に毎月「環境NEWS」欄を設け、情報発信しているが、環境保全への意識向上を図るため、更に内容を充実していきたい。	財政課の公表資料(環境推進課の業務関連)
		環境に関する広報特集記事数	○	件/年	0	1	0	1	0	0	1	1	1	○			環境推進課	
		環境に取り組む個人・団体等の活動等を紹介した広報記事数	○	件/年	9	10	13	6	4	3	1	12	1	▲			環境推進課	
		環境保全に関するNPO法人数	○	団体	2	3	4	5	5	5	4	11	5	○	総務省HPより(笛吹市に拠点を置くNPOのうち活動分野が環境を含むもの)		市民活動支援課	
		市が主催する、各主体の交流イベント開催数	△	回	2	2	2	2	5	5	2	—	1	▲	市民まつりの開催		市民活動支援課	
		市役所におけるグリーン購入物品数(ペン・ファイル・コピー用紙) ^(※5)	△	%	—	100	100	100	100	100	100	—	100	▲			管財課	

平成29年度は……

平成27年度に環境基本計画を見直し、環境指標項目数の増減があったため、平成27年度と平成28年度の項目比較が出来なくなりました。今回より数値の上下ではなく、「改善」という表記とし、より分かりやすいようにしました。

環境指標を、①改善がされたもの、②改善が見られなかったもの、③基準値維持、④事情により数値なしの4種類に区分けしました。

152項目中、改善された項目は、55項目(36.18%)となりました。

①	○	改善が見られた	平成28年度		平成29年度	
			項目数	割合	項目数	割合
②	▲	改善が見られなかった	63 項目	41.45%	55 項目	36.18%
③	→	基準値維持	54 項目	35.53%	60 項目	39.47%
④	空欄	H28数値なし	16 項目	10.53%	18 項目	11.84%
			19 項目	12.50%	19 項目	12.50%
		合計	152 項目	100.00%	152 項目	100.00%

(注)※1～5についての用語の意味は次のとおりとなります。

- ※1 エコファーマーとは…持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律に基づいて認定された農業者。都道府県が定める指針に基づいて、持続性の高い農法とされる堆肥と土づくり、化学肥料・農業低減技術を組合せて農業生産を行う人です。
- ※2 アダプトプログラムとは…アダプトとは英語で「〇〇を養子にする」の意味。河川など公共の場所を養子に見立て、市民団体が我が子のように愛情を持って清掃美化を行い、行政がこれを支援する制度です。
- ※3 BODとは…生物化学的酸素要求量のこと。これは、微生物が有機物を食べるために使った酸素の量のこと、川の汚れを調べる目安として使われています。
- ※4 エコティーチャーとは…山梨県が、県民の環境の保全及び創造に関する知識の普及啓発及び意味の増進を図るため、地域や学校等で開催される研修会や講演会、現地指導会等に、専門的な知識や豊富な経験を有する者を派遣する制度です。
- ※5 グリーン購入とは…購入の必要性を考慮し、品物や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。